

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-14		国県道対策事業						
	□支援部門								
主管課	道路課	関連課	交通計画課、管財課						
分野名	総合交通								
目標 (目標値)	都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図る。								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考				
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	48	365	16,937					
	(国・県)								
	(負担金等)			16,937					
	(一般財源)	48	365	0					
	人員配置数	1.0	1.0	0.2					
	人件費(千円)	8,341	8,629	1,789					
	協働の パートナー	神奈川県	神奈川県	神奈川県					
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	8,389	8,994	18,726					
	市民1人当 りの経費(円)	47	51	106					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を越え 〇後退		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
国県道対策事業	48千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	都市計画道路腰越大船線大船立体工区の円滑な事業実施を図るため、事業主体である神奈川県と連携し地元住民及び関係機関等との調整を行った。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業区域内の用地取得において、一部未取得用地がある。
課題解決のための取組	神奈川県の行う用地交渉が円滑に行われるように、県と連携を図り土地所有者との対応に継続してあたる。
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了	
		②妥当性	○			都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため、今後とも神奈川県と連絡調整を密に行っていく。	課長等名	
		③有効性	○				B	道路課担当課長
		④公平性	○					坂巻 龍馬

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
国県道対策事業	1379	消耗品費	50	48	■適切 □見直し余地あり
	1379	不動産鑑定評価委託料	310	0	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり